

「リズム・表現運動」

【ねらい】

- リズム・表現遊びを楽しむことができる。
- リズムに合わせて体を動かすことができる。
- 真似をして体を動かしたり、自分の思ったようなポーズ・動きを取ったりすることができる。

【学習の流れ】

1. 活動内容の確認をする。

2. 本時のめあてを決める。

- ・ものまね名人になろう。
- ・全身を目いっぱい動かそう。
- ・ポイントを意識して取り組もう。
- ・リズムに乗って体を動かす活動を楽しもう。
- ・リズム運動に挑戦しよう。
- ・友達の良さを見つけよう。

※児童の実態に合わせてめあてを設定します。

3. リズム・表現運動をする。

〈模倣表現運動〉

- ・新聞紙になりきろう
- ・まねっこ列車
- ・だるさんが〇〇をした
- ・動物歩き
- ・ジェスチャーゲーム

〈リズム運動〉

- ・リズム手遊び
- ・ぐるぐる決めポーズ
- ・バランスボールエクササイズ
- ・うさぎとかめ
- ・リズムジャンプ

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、内容を変更して行うこともあります。

4. 振り返りをする。

自分のめあてについて振り返りを行う。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団学習では、「リズム・表現運動」を行いました。リズム・表現運動では、児童の実態に応じて、真似をして体を動かす「模倣表現運動」と、音楽やリズムに合わせて体を動かす「リズム運動」を組み合わせて指導しました。全身を使って目いっぱい体を動かすことと、自分の体の輪郭を意識することや、力の入れ具合を把握するボディーイメージを養うことができます。また、表現することが苦手な児童でも、「小集団ならみんなの前でやってみようかな」「言葉での発表は難しいけど、体での表現なら楽しくできる」など、児童に合わせた小さな目標を立てることで、自分を表現するきっかけになればと思います。

表現・リズム運動は全身をたくさん動かせるだけでなく、気分も高まります。得意な児童も苦手な児童も、楽しく運動経験を積むことができるよう指導していきます。